

Looking Wider
視野をより広く

ボーイスカウト沖縄県連盟広報紙

2011年12月5日発行

電子版 #11 0196

●発行所 日本ボーイスカウト沖縄県連盟 那覇市奥武山町51-2 TEL (098) 858-1451



野口宇宙飛行士とスカウト展開催 兵庫連盟姫路6団

那覇4団と友好関係にある兵庫連盟姫路6団は、この程、『野口宇宙飛行士とスカウト展』を開催したということで、関連記事が送られてきましたので、これらの文章を紹介いたします。

野口宇宙飛行士とスカウト展を開催して

ボーイスカウト姫路第6団
団委員長 苦瓜 一夫

子どもの夢、実現プログラムを提供しようと、ボーイスカウト姫路第6団では『大きくなったら宇宙飛行士』になりたいと言う子どもたちの夢に、今年の6月、兵庫県中播磨地域づくり応援事業の助成をいただき、事業委員会においてその企画を立案してきました。

『野口宇宙飛行士とボーイスカウト展』の開催に向け、神奈川連盟茅ヶ崎第2団の脇本団委員長や野口幹夫様(野口宇宙飛行士のお父さん)の協力や姫路市教育委員会の後援、地元広畑地域の小学校、神戸新聞姫路支社、姫路FM ゲンキラジオ局などのペアアップを頂き、11月12日(土)～13日(日)の両日、姫路市立広畑市民センターで開催しました。

お陰様で連日、午前10時の開場とともに、地域の皆様をはじめ、姫路第6団のスカウト、家族は勿論のこと、姫路地区友団の指導者、スカウトたちが次々と来場いただき、野口宇宙飛行士とボーイ

スカウト展に合わせ、

地域で活動する姫路第6団のあゆみ、又、スカウト経歴57年のスカウト活動に感謝し、NIGAURI 団委員長の感謝と足跡展も同時に開催したもので、子どもの頃のスカウト仲間、指導者のOB、勤務先の東芝の仲間や先輩も駆けつけいただき、懐かしさや昔ばなしに華がさき、連日、多にぎわいの展示会場となりました。お陰様で、期間中、来場いただいた方、約250名を越す多くの皆様に感謝申し上げます。

ところで、何故、姫路で野口宇宙飛行士とボーイスカウト展を開催したのか、少しお伝えしておきます。実は、宇宙飛行士、野口聡一さんは、お父さんの転勤で4歳から揖保郡太子町に移り住み、小学校5年生まで幼年時代をすごされました。ボーイスカウト活動に関心をもたれお父さんから相談を受け、既に私(苦瓜)は、ボーイスカウトの隊長でしたので、姫路第8団を紹介、昭和49年から昭和52年まで、姫路でスカウト活動をはじめられ、小学校5年生の時、横浜へ転居、中学校、高等学校、大学とスカウト活動を続けられ、憧れの日本ジャンボリーにも参加されて

います。現在も神奈川県茅ヶ崎第2団の指導者として活躍されています。

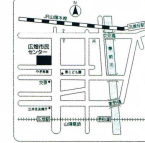
ご承知の方もあるかと思いますが、野口聡一さんのお父さんは、私と同じ株式会社東芝姫路工場で、高度成長に向け、テレビ事業のブラウン管製造の拠点として、その技術部長として、大きな業績を残され、一方では、聡一さんが所属する団において、指導者(副団委員長)として、ご奉仕いただいていた事もお伝えしておきます。

姫路で初めて公開する貴重な記録

野口宇宙飛行士とボーイスカウト展

中播磨地域づくり応援事業 子どもの夢・実現プログラム

会場案内図



後援: 姫路市教育委員会

★宇宙飛行士・野口聡一さん!スカウト活動の始まりは、姫路から・・・

1969年、お父さんの転勤で4歳から揖保郡太子町に移り住み小学校5年生まで幼年時代を過ごされました。ボーイスカウト活動に関心をもたれ、お父さんの相談を受け、当時太子町に、ボーイスカウト組織がなかったため、姫路第8団を紹介。昭和49年～昭和52年まで姫路でカブスカウトとして活躍されました。近くの朝日山に登ったり、佐用町の環瑠寺での楽しいキャンプ等、野口聡一さん足跡と思い出が見えてきます。



入場無料

□日時 平成23年11月12日(土)・13日(日) [午前10時～午後4時]

□場所 姫路市広畑市民センター 2階展示室

□内容 野口さんのスカウト活動と宇宙飛行士の活動

★世界160ヶ国2800万人と共に活動する姫路6団・集めたスカウトワッペン 記念切手・アメリカコレクション・バックル及び数々の逸品・お宝を展示



TEL:079-236-8166 FAX:079-236-8177
ボーイスカウト姫路第6団

〒671-1144 姫路市大津区長松(事務局)

只今、スカウト隊員募集中!会場では、入団に関する相談も行っています

野口宇宙飛行士とスカウト展を見学して思うこと

松下 晃
(姫路地区コミッショナー)

スカウト展の開催案内を頂き、広畑市民センターへお伺いした。

丁度この期間中は「B-1グランプリ in 姫路」が開催され、姫路城周辺は2日間で51万人の人手で賑わいを呈していました。

我が姫路第16団も13日午前中に駅前や会場周辺において「東日本大震災支援」の募金活動を行い多くの皆様より義援金をお預かりいたしました。

午後に会場に伺いましたが、会場入り口で等身大の宇宙飛行服の人形が出迎えてくれました。お話によると6団の団委員長を中心に自作されたとか、写真を頼りに材料や装具に工夫を凝らしたようです。団内の結束を示す作品でした。

野口宇宙飛行士のブースでは、スカウト出身の著名人の紹介やボーイスカウトの啓蒙コーナーがありましたが、圧巻は野口さんと姫路の関わりを示す貴重な写真・資料等が展示され、日頃我々が使用しているエリアを約40年前に野口さんが同じように活動されていたとの場に触れ親近感を持ちました。

ガールスカウト友団の紹介やスカウトグッズのコーナーは、見て触れて楽しく興味深く拝見しました。

特筆すべきは、やはり苦瓜団委員長のスカウト活動57年の足跡とその関連グッズ等を拝見しているとスカウト時代楽しい活動の中でのリーダーシップを発揮している姿が見えてきます。

隊・団に止まらず地区や県連盟・日本連盟の要職を通じての海外派遣等での活躍、トレーナーとしての奉仕を通じての後継者の育成に尽力されている姿が見えてきます。私自身もカブスカウト課程の研修所において所員奉仕されていた時に入所したのが親交の始まりで、スマートネスを体全体で示されているかっこいい所員でした。その後、私自身もトレーナーとしてご一緒させていただいておりますが、何時までも師匠であります。

会場全体に団を挙げての工夫が見られ、キャンプサイトの再現や、40余年に及ぶ沖縄連盟との交流等の団活動が紹

介され、地域に止まらずグローバルな活動を展開する団の特色が出ていると思います。

「子供のころお世話になった隊長へのお礼のつもりで『続けることが恩返しと心に誓い』」をモットーに活躍されている氏の今後更なるご活躍と姫路第6団の更なる弥栄を祈念申し上げます。

子どもの夢・実現プログラム事業

小池 淳司
(姫路第6団地域づくり応援事業委員長)

ご承知の野口宇宙飛行士は、姫路でボーイスカウト活動していた時、将来ロケットの操縦士になりたいと作文に書いて夢を実現され、多くの子ども達に夢や希望をもたらした。

子ども達の夢は、身近な事から世界ら羽ばたく大きな夢まで膨らみます。夢を実現に向けることは、子ども達の心を育むとの思いを事業のテーマとしております。

木の上に住みたい？BS・VSがツリーハウス作りに取り組んでいます。

お菓子の家に住みたい？BVSや近隣の友団、幼稚園児が親子でお菓子の家づくりで、パティシエの夢を実現します。

カーレーサーになりたい？CSがパインウッドカーを作って、スカウト展に出品来場者の投票で、デザイン賞を！年末に行う、カーレース大会でチャンピオンの決定です。

宇宙飛行士になりたい？

この夢の実現のため、野口宇宙飛行士とスカウト展を開催しました。野口さんの写真や資料、苦瓜団委員長のスカウト歴57年のコレクション、他団からの出展協力もあって内容も充実、多くの来場者に好評を頂きました。会場入口には、団委員の苦心作「等身大の宇宙飛行士人形」を配置、雰囲気盛り上がりしました。

この事業は、兵庫県が進める地域づくり活動応援事業へ応募し助成を受けて、実施しております。団の年間計画とは別に行いますので、その調整に大変苦労しましたが、その事業を通じて地域との交流やPR、各隊間の連携と団事業の位地づけの中でプログラムの新鮮さと活力が生まれているように思っております。



おかしのをつくりました

三村 雄 貴
(姫路第6団ビーバー隊)

材料は、きのこの山、マシュマロ、クリームコロン、クラッカー、マーブルチョコ、ココナッツサブレ、ウエハース、粉砂糖のボンドです。

三角屋根のおうちと、庭の木と、シーソーを作りました。三角屋根を押さえるのが一番難しかったです。クリームコロンを積み上げて、ボンドでくっつけて木を作ったのが面白かったです。粉砂糖のボンドをちよつとなめたら甘かったです。お菓子の家は、とてもいい匂いがしました。

野口宇宙飛行士とスカウト展を拝見！

霞末奈津子
(姫路第18団BS副長)

先日は、貴団の「野口聡一宇宙飛行士とボーイスカウト展」にお招きいただき、本当にありがとうございました。

野口聡一さんの宇宙での活躍は、以前から大変興味があり、何冊かの自伝を読んでいた事もあったので とても楽しみにしていたのですが、私達と同じ姫路の地でボーイスカウト活動をされていた頃の様子が今回の「ボーイスカウト展」ではより詳しくわかり、ますます野口さんを身近に感じ、嬉しく思いました。

また、同時開催されていた貴団 団委員長長の苦瓜さんの57年もの長い間歩んでこられた 輝けるボーイスカウト人生の足跡展。

数々の日本ジャンボリーや世界ジャンボリー、そして国際会議等、グローバルなご活躍の様子を 多くの写真や資料、展示品によって見せていただき、地球規模のボーイスカウト活動の素晴らしさを改めて感じずにはいられませんでした。

今回、姫路 18 団は数名の指導者と共に希望するスカウトを連れてお伺いしたのですが、多くの外国のスカウトが 私達と同じように ボーイスカウトのネッカチーフを巻いて楽しそうに活動する写真がとても印象深かったようです。

スカウト達が、1 人でも多く 苦瓜さんのように 世界に羽ばたく素晴らしいスカウト人生を歩めるように これからもしっかりサポートをしていきたいと思ひます。



子ども達に夢を！・・・お菓子の家づくり

佐野 好 美
(姫路第6団カブ第2隊副長)

中播磨地域づくり応援事業のひとつとして、子供の夢の実現「お菓子の家に住みたい！」という願いから、お菓子の家を作ってみよう。と企画されました。

NPO法人生涯学習サポートセンター兵庫から専門講師菅野将志さんこと(まーちゃん)に、午前・午後の2部に分かれてご指導いただきました。

お菓子の家を作る前に、まーちゃんから「3つの試験をクリアした人しか、家づくりは出来ませんよー」と言われました。親子が向かい合わせになり、試験が開始されました。

一つ目は『話をしっかり聞く』という事で、まーちゃんの「キャッチ」の声や桃太郎の話に出てくる「に」の掛け声で、大人も子供も笑顔いっぱい楽しんでいました。二つ目、三つ目は『頭の運動』『指の運動』の試験で、左手がずっと勝つようにグー・チョキ・パーと両手を使って一人じゃんけんをするゲームでした。これもなかなか難しく、子供より大人の方が四苦八苦していました。前半はテストタイムで、親子も楽しく、初めて会った友達とも一緒に笑えるようになりました。

いよいよお菓子の家づくりです。クラッカーやビスケット、小枝チョコ、マーブルチョコ、きのこの山などを材料に、粉砂糖を水で溶いたもの(アイシング)をボンドにして紙皿の上に家を作っていきます。

土台がしっかりしていないとすぐ壊れてしまう事や、ボンドが柔らかすぎると壁を立てるのに難しい事などを、発見しながら親子共同作業で頑張っていました。中には、思うように出来ず、泣いてしまう子、親子げんかする子、材料を食べながらやっている子、子供より親の方が必死に作っている人など、様々でした。

紙皿(土地)に、お庭つきの家やマーブルチョコを上手に使うカラフルな家、アイシングを利用して雪が積もっている屋根だったり、平屋の大きな家、2・3階建ての高い家など、子供たちの思い思いの家が完成しました。

最後はみんな満足で得意げな笑顔でいっぱいでした。壊さず家に持って帰ってお父さんや兄弟に見せてあげたい。という声を聴き、私はとても幸せな時間が過ごせました。

